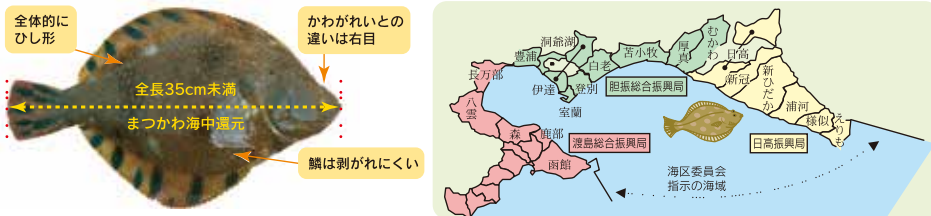


「幻の魚」まづかわを守ろう

***全長35cm未満のまづかわは海中還元！**

函館市古部町～えりも町東端までの太平洋海域では、全長35cm未満のまづかわを採捕した時は、速やかに海中へ戻して下さい。



・函館市古部町からえりも町東端までの太平洋海域において、まづかわ(たかのは、たんだか、ブランド名「王蝶」)の資源回復を図るために、平成18年度から漁業者による大規模な種苗放流が行われています。現在、まづかわの資源は、そのほとんどが人工魚で占められています。
 ・当海域では、こうした資源を保護するために、漁業者に限らず、資源を利用する全ての人、海区漁業調整委員会指示により、全長35cm未満のまづかわを採捕した場合、速やかに海中に還元(リリース)しなければなりません。

ご理解
願います!

資源の増大に向けた漁業者の取組

漁業者や漁業関係機関は、水産資源の維持や増大を図り漁業生産を向上させるため、「つくり育てる漁業」や「資源管理型漁業」に取り組んでいます。

「つくり育てる漁業」は、人為的に水産生物の種苗生産や放流、育成管理、漁場の造成や改良、養殖などを行うもので、漁業者が種苗や稚魚の生産及び放流を行う経費の一部を負担しています。

また、「資源管理型漁業」では未成魚の保護や適正な漁獲量の設定など、積極的に資源を管理しています。

【つくり育てる漁業を行っている主な魚種】

さけ・ます・ひらめ・まづかわ・にしん・ほたてがい
 こんぶ・えぞはふんうに・あわび など

【資源管理協定で漁業者が規制している魚種とサイズ】

魚種	規制サイズ	対象海域
ひらめ	全長35cm未満	津軽海峡海域を含む北海道日本海海域
まづかわ	全長35cm未満	函館市古部町からえりも町東端までの太平洋海域
まがれい	全長18cm未満	北海道周辺の全海域
そうはち	全長18cm未満	
すけとうだら	全長34cm未満	

クロマグロを対象とする 遊漁者・遊漁船業者の皆様へ

～クロマグロの資源管理にご協力ください～

太平洋クロマグロは、近年、資源状況が悪く、早急な資源管理を図る必要があることから、我が国においても、中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)での国際合意に基づき、親魚資源量を回復させるため、漁獲量の上限を設定するなど、厳しい管理措置に取り組んでいます。

これを受け、日本の漁業者は、一本釣り漁業からまき網漁業までの**全ての漁法**で、次のような厳しい資源管理に取り組んでいます。

小型魚(30kg未満)

2002～2004年の平均漁獲実績の**半分までしか獲らない**

大型魚(30kg以上)

2002～2004年の平均漁獲実績から**増加させない**

また、平成30年7月1日からは、「海洋生物資源の保存及び管理に関する法律」(通称「TAC法」)に基づく資源管理が行われています。

採捕停止命令について

- TAC法に基づき、採捕の種類別、海域別に割り当てられた数量の95%を超えるときなどは、北海道が採捕停止命令を发出します。この場合、**遊漁者も命令の対象**となります。
- 採捕停止命令发出後に採捕すると、次の罰則が適用になる場合があります。**3年以下の懲役若しくは200万円以下の罰金又は懲役・罰金の両方**

TAC法は、令和2年中に施行予定の改正漁業法に統合されますが、クロマグロの資源管理の取組や罰則については継続されます。



クロマグロ資源管理の取り組み内容は、時期により変動があります。最新情報は、ホームページ「北海道 フィッシングルール」で検索・ご確認ください。